

熊本地震を踏まえた国土強靱化関係施策の点検について

平成28年 7月29日
国土強靱化の推進に関する
関係府省庁連絡会議

1. 目的

国土強靱化基本計画を着実に推進し、「起きてはならない最悪の事態」を回避するため、アクションプランをとりまとめ、各施策を総合的に推進することとしている。この際、新たに発生した大規模災害も踏まえたPDCAサイクルを実践・徹底することとしている。

平成28年熊本地震については、アクションプラン2016において、「事前防災及び減災等に資する国土強靱化の取り組みについて、今回の地震を契機として、さらに議論を深め、必要な取組については国土強靱化の枠組みの中にしっかりと位置付け、重点的に推進する。」と明記しており、この一環として、「起きてはならない最悪の事態」の点検作業を行い、国土強靱化の取組のスパイラルアップにつなげる。

2. 点検作業

「45の起きてはならない最悪の事態」について、以下の点検作業を行う。

点検1 熊本地震による発生事象の点検

起きてはならない最悪の事態の項目毎に熊本地震による事象発生 の程度を点検する。

点検2 起きてはならない最悪の事態に係る点検

(点検1)により整理した発生事象を踏まえ、
個別施策の進捗の遅れ(進捗状況も含めて確認)
個別施策の対応の水準(適用技術基準も含めて確認)
施策の隙間の有無

等の起きてはならない最悪の事態を発生させている具体的な事由と今後の対応について点検する。

3. 点検結果の活用等

点検結果については、とりまとめの上、国土強靱化アクションプランへの反映。
なお、速やかに実施に移すべき対応は、とりまとめを待たずして、対応を進める。